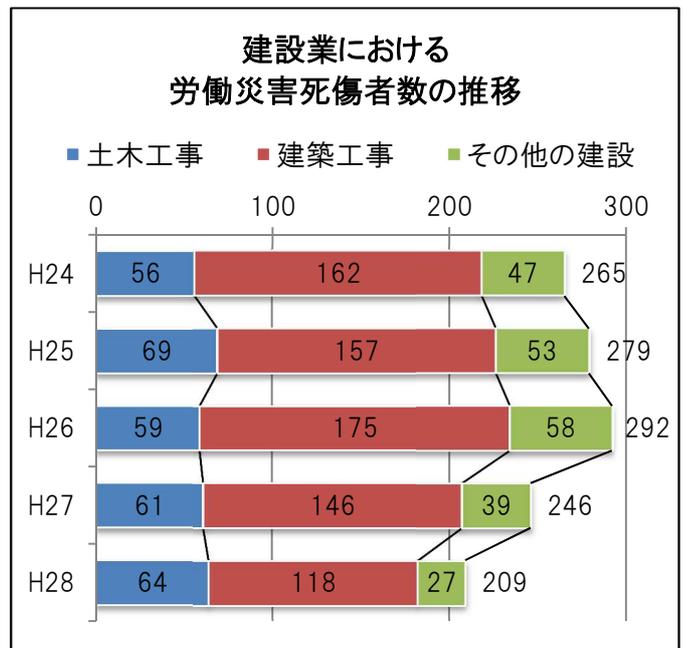
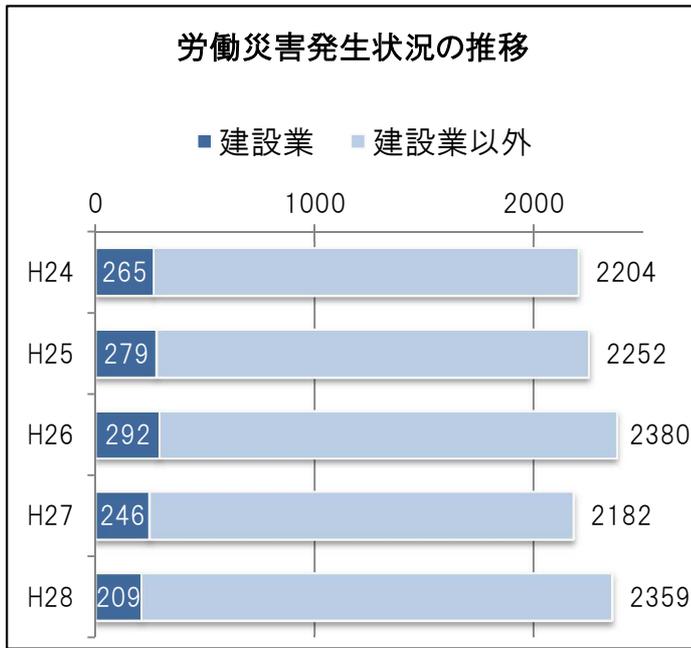


建設業の労働災害発生状況(平成28年)

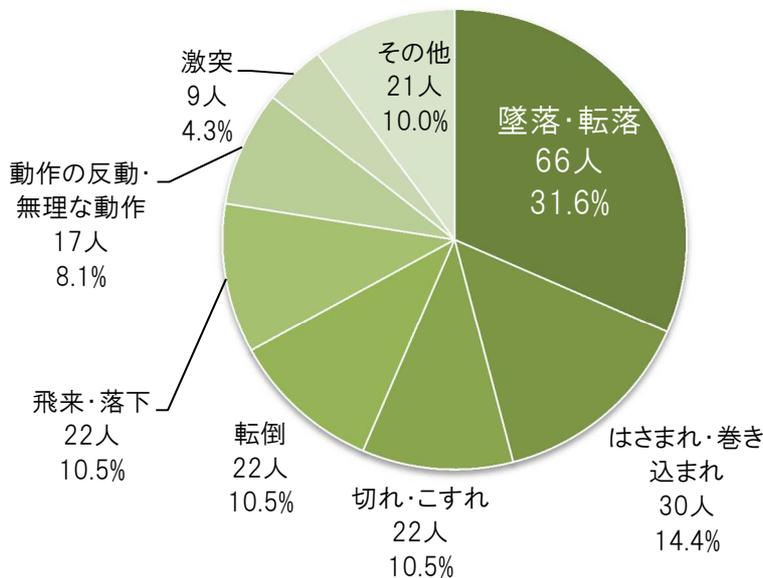
群馬労働局健康安全課

平成28年における労働災害による休業4日以上[※]の死傷者数(以下「死傷者数」という。)は、全業種では前年比で8.1%増加しましたが、建設業における死傷者数は、**37人減少(減少率15.0%)**となりました。



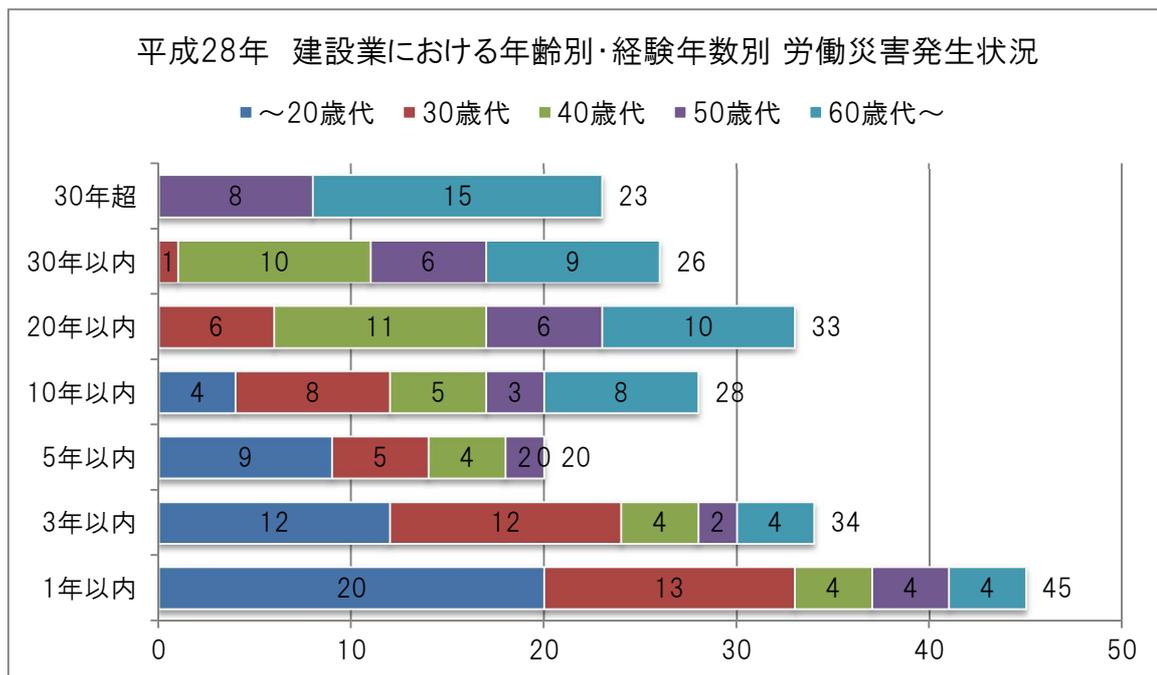
建設業における死傷者数を事故の型別で見ると「**墜落・転落**」が最も多くなっています。次いで「はさまれ・巻き込まれ」、「切れ・こすれ」、「転倒」の順となっています。

建設業における事故の型別の割合 (平成28年)



裏面もご覧ください。

平成 28 年の建設業の死傷者数を経験年数別で見ると「**経験年数 1 年以内**」が最も多く、年齢別で見ると「**高齢者の割合**」が高くなっています。



建設業における死亡災害発生状況

平成 28 年の群馬労働局管内の建設業における死亡者数は、3 人となりました。

番号	発生月 発生時間帯 店社人数・ 現場人数	年齢 性別 職種	災害のあらまし	発注者	事故の 型別	起因物別
1	2月 16時頃 4人	50歳代 男 作業員	建屋解体工事現場で、建屋屋根上に上がり取り外した折板を屋上端部から地面に投げ下ろしていたところ、バランスを崩し高さ約3.1mの地面に墜落した。	民間	墜落・転落	建築物・構築物
2	5月 12時頃 3人	20歳代 男 電工	三相 6600Vの受変電設備(キュービクル)の扉が開き、その近くで倒れている被災者が発見された。	地方公共団体	感電	電力設備
3	8月 14時頃 6人	60歳代 男 解体工	木造平屋建て倉庫の解体工事において、屋根上で屋根瓦の撤去作業中、野地板を踏み抜き約6m下のコンクリート床に墜落し、脳挫傷により死亡した。	民間	墜落・転落	屋根